

2011年8月5日
2011年9月5日、11月30日、3月7日一部改訂

日本語聴覚士協会 会員のみなさま

一般社団法人日本語聴覚士協会
会長 深浦 順一

被災地支援・福島県の委託事業に関する専門家派遣について（依頼）

東日本大震災の発生に伴い、日本語聴覚士協会では、日本発達障害ネットワーク（JDD ネット）の会員団体として福島県の委託事業への協力を行うことになりました。つきましては、会員のみなさまのご協力をお願いしたく、下記の通り協力希望者を募集します。

今回ホームページ等では募集しておりません。小児の臨床に携わっておられる全国の先生方にお声かけしていますので、是非近隣の会員にお声かけいただきたく存じます。また、現在は予定が未定でも、今後本活動に協力の意旨がある方がおられましたら、ご氏名、メールアドレス等をご連絡ください。宮城県ならびに岩手県での活動についても決まりましたら、情報を逐次お伝えし再度ご検討いただきます。

以上、日頃の業務でご多忙かと存じますが、事業への参加、あるいは赴任希望者のご推薦等、是非ご協力いただきたくお願い申し上げます。

委託事業名：被災した障がい児に対する相談・援助事業

◆事業内容

東日本大震災及び原発事故により被災した障がい児（判断のむずかしい子どもも含む）を対象に以下の業務を実施する。（日本語聴覚士協会は主に①②④の業務を実施する。）

- ①避難に関する相談：特別な支援が必要な障がい児の避難先、避難方法についての相談を受ける。
- ②アセスメントと個別支援計画の作成：臨床心理士や臨床発達心理士、言語聴覚士等の専門家がアセスメントを行い、障がい児に必要な支援の計画を作り、避難先や新しい生活の場の支援にスムーズにつなげる。
- ③療育・放課後支援：保育士、児童指導員等が避難先で障がい児の療育を行う。
- ④子育ての相談：避難生活での障がい児（判断のむずかしい子どもも含む）の子どもたちの子育てについて、家族からの相談を受ける。

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=25451

◆派遣スケジュール

2011年8月29日～2012年3月31日までの平日

*現在、3月26日（月）～27日（火）を同性2名まで急募しています。

*26日（月）～28日（水）の2泊3日の活動も可能。委細相談。

◆現地拠点（JDD ネット現地事務所および療育・放課後支援実施場所）

住所：福島県相馬市中村笹川 16-1 相馬カルチャーセンター内 ゆうゆうクラブ

◆現地宿舎 コーポ*** （2DK、駐車場付）

住所：福島県相馬市****

◆相談支援用の車の配置： レンタカー トヨタヴィッツ（1台）を配車。

◆①報償費 一日9,300円（食費込み） ②旅費：実費交通費

◆問い合わせ・申込先

責任者：東江浩美 agarie-hiromi@rehab.go.jp

hiromiagarie@nifty.com （双方のアドレスにご連絡ください）

連絡調整担当：秋元淳子、榎本伸子

< 補足説明 >

◆障がい児放課後支援「ゆうゆうクラブ」について

<http://yuuyuclub.jugem.jp/>

立ち上げの経緯は上記ブログをごらんください。震災のため児童デイサービスなどに通えなくなった子どもたちを支援する場として、保護者の方々が立ち上げました。2011年7月から2012年3月まで、日本発達障害ネットワークが福島県から委託を受け、現地採用の保育士・児童指導員2名と県外からの専門家のサポートによって運営していきます。

◆赴任にあたって

1) 福島駅より相馬市までの移動について

福島～相馬間の臨時バスが運行されている。所要約1時間半。

福島駅から相馬市役所まで乗車。相馬市役所で現地職員が車でピックアップする。または夜間の到着の場合は相馬市役所よりタクシー。

福島交通

http://www.fukushima-koutu.co.jp/highway/pdf/20111219_soma_ryo.pdf

2) ボランティア休暇が認められる職場がありますので上司にご相談ください。依頼文は後日送付いたします。

3) 相馬市は比較的放射線量が低い地域とは聞いておりますが、活動への参加に関しては、ご家族とも相談のうえ、各自の判断でお決めください。

以上